

日本語教育を必要とする人は東京の宝

東京の日本語教育・日本語学級を考えるつどい2010

～日本語教育の充実、多文化共生をめざして～



2004年6月夜間中学の日本語学級教員定数削減問題を発端に行なわれて以来、毎年続けられてきた「つどい」も7回目をかぞえます。個々に活動していた日本語教育関係者が顔を合わせ、活動の交流や学習をしながら、共通する課題の解決にむけて手を携えてきました。「外国人の子どもの教育条件の改善に関する請願」(07年6月)、「外国人教育の条件改善を国に求める意見書に関する請願」(10年3月)が都議会で全会一致採択されたのも、こうした流れの中で生まれてきたといえましょう。幅広い人々の力が寄せられてきた証しです。この輪をさらに広げましょう。皆さまお誘い合わせの上、ぜひ多数ご参加ください。

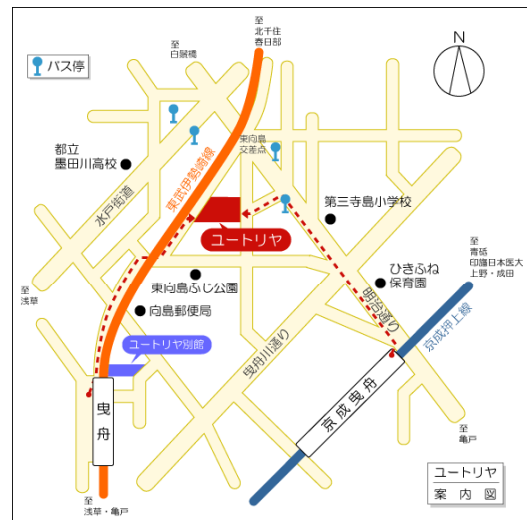
5月30日(日) 午後1:30～5:00(1時開場)

すみだ生涯学習センター本館

(ユートリヤ) ※「ユートリヤ別館」ではありません。3階・視聴覚室

墨田区東向島2-38-7 TEL:03-5247-2001

東武曳舟駅・京成曳舟駅 徒歩5分



資料代 700円 (学生500円)

呼びかけ人：宮崎里司（早稲田大学） 佐久間孝正（立教大学・多文化共生教育研究会）

春原憲一郎（〈財〉海外技術者研修協会） 関口明子（(社)国際日本語普及協会(AJALT)）

王慧樞（多文化共生センター東京） 杉澤経子（東京外語大多言語多文化教育研究センター）

横山文夫（日本語フォーラム全国ネット） 中西久恵（CCS/世界の子どもと手をつなぐ学生の会）

出口雅子（ピナツボ復興むさしのネット） 中山真理子（中野区国際交流協会・亜細亜大学）

泉田俊英（都立富士森高校） 床呂英一（MIFA/まちだ地域国際交流協会） 小林普子（NPO/

みんなのおうち） 飯島直子（日本語ぐるりっと） 李原翔（東京学芸大学 通訳）

見城慶和（夜間中学と教育を語る会） 藤田京子（FSC/外国人生徒学習の会）

主催：「東京の日本語教育・日本語学級を考えるつどい2010」実行委員会

(連絡先) 実行委員長 藤田京子 047-372-3799 090-6507-8835

プログラム

- 1、講演 野山 広先生（国立国語研究所日本語教育研究情報センター上級研究員）
テーマ「子どもの言語学習・就学支援と多言語多文化社会
～家族，地域社会，関係機関の役割と責任～」
- 2、都議会各会派からのあいさつ
- 3、基調提案
- 4、報告 「外国人児童・生徒に対する教育支援の現状と今後の課題」
 - ①江東区より 宮崎 専輔さん（江東区立深川第八中学校日本語クラブ講師）
 - ②葛飾区より 福島 育子さん（葛飾区・日本語の会「いろは」）
- 5、シンポジウム
テーマ「地域における日本語教育の現状・課題と改善の可能性をさぐる」
 - 野山 広先生（講演者）
 - 宮崎 専輔さん（報告者）
 - 福島 育子さん（報告者）
 - 藤田 京子さん（「つどい」実行委員長）



<講演者・報告者から>

講演 野山 広先生

子どもの言語学習や就学支援の充実・発展を目指すとき、マクロ（巨視）とミクロ（微視）の両方の視点から考えて協働実践を展開することが重要かと思えます。巨視的には、子どもの学習権、ひいては人権を擁護するために、例えば「児童の権利に関する条約」などを踏まえつつ、「子どもの自尊感情（セルフエスティーム）」の尊重、確認・育成について配慮した政策・施策の立案や展開を図っていく必要があります。一方、微視的には、例えば、家族、地域社会、支援に関連する機関は、子どもの言語発達に対して目に見えない大変な責任を負っていることを忘れることなく、人間形成の基盤となる言語（能力）の柱を築いていくための具体的実践を積み重ねていくことが肝腎かと思えます。当日は、これら両方の視点から、共に考えることができたら幸いです。

報告

①宮崎 専輔さん

江東区で、私のつかんでいる外国人児童・生徒に対する教育支援施設についての現状と問題点、今後の課題について報告します。中学校段階の問題点は幸運にも深川八中に入學・転入できた外国人生徒は手厚い教育が受けられるが、入ることができなかった多くの生徒は他区の支援施設等に行き、日本語を学ばざるを得ない状況です。私が考える、あり得べき江東区の外国人児童・生徒に対する教育支援施策について提案したいと思います。

②福島育子さん

地域の日本語教室（葛飾区）に参加する「子どもたち」の事例を中心に、外国にルーツを持つ、主として学齢期の子どもたちへの支援の現状と課題について、日本語ボランティアの立場からお話しします。現在、「子どもたち」とその家族は何を必要としているのか、そのためにできること、すべきこととは何か、ご一緒に考えたいと思います。